

各位

2025年4月24日
太陽ファルマ株式会社

医療・医薬品事業の初の海外拠点であるタイ王国に新工場を建設 ～日本での医薬品供給不足を解消するため、多様な製品の受託製造を目指す～

太陽ホールディングス株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志、証券コード：4626、「以下、太陽ホールディングス」）の子会社で、医療・医薬品事業を担う太陽ファルマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有馬 聖夫、以下、「太陽ファルマ」）は、タイ王国に有している、TAIYO Pharma Asia Co., Ltd.（太陽ファルマ子会社、以下「太陽ファルマアジア」）に新工場を建設し、4月23日（水）に竣工式を開催しました。



【太陽ファルマアジアについて】

日本国内の医薬品製造においては、人手不足を主因とした生産キャパシティの不足等により、医薬品の製造が一部滞っています。その結果、解熱鎮痛薬、鎮咳薬及び去痰薬を含め、医療上の必要性の高い医薬品の供給不足が深刻化しており、これは日本の社会課題の一つとなっています。一方で、アジア地域における医薬品製造の状況として、生産余力は十分にあり継続的な製造が可能であると考えています。しかし、日本市場が求める高い外観品質基準を満たすことが、海外からの医薬品供給における必要条件となっています。そこで、日本向け医薬品の外観検査、包装並びに輸出事業を担う太陽ファルマアジアを東南アジアの中央に位置するタイ王国に設立しました。太陽ホールディングスの医療・医薬品事業における初の海外拠点として、供給不足の解消を目指します。

【新工場について】

新工場は、タイ（PIC/S）および日本のGMPを遵守し、日本品質に適合する自動外観検査機、包装機を導入し2026年12月に稼働予定です。

〈社長挨拶（要旨）〉

タイに新たに建設された工場は、太陽ホールディングスの医療・医薬品事業における初の海外工場として、大きな一歩を踏み出しました。このプロジェクトは、グローバル市場での存在感を強化し、日本での医薬品の安定供給を実現するための戦略的な位置づけです。新工場は最新の設備を備え、高度な生産能力と品質管理の向上を図ります。また、この拠点の設立は、タイでの雇用創出や地域経済の活性化にも貢献し、現地スタッフと長期的な信頼関係を築き、地域社会と共に成長していくことを実現します。



〈竣工式の様子〉

【新工場の概要】

所在地	999/34 Moo 15 Bangsaotong Sub-District, Bangsaotong District, Samutprakarn Province, Thailand
建築概要	延床面積：2,592㎡（鉄骨造2階建）
竣工	2025年4月23日（水）
稼働	2026年12月予定